



令和4年10月号

支援を哲学するお話①

「知行合一（ちぎょうごういつ）」

知行合一とは中国で発展をした陽明学という思想哲学の考え方です。
知る（知識）と行う（行動）は、それぞれが一つになる事で初めて完成をします。

人に何かを伝える時に「意味」と「方法」の2つが大切になります。
何故それをしてしなければいけないのかという意味や意図。具体的にどの様にすれば良いのかという方法。両方がしっかりと伝わり、自発的・能動的に行動をしてもらう事が理想ですね。しかし、同時に伝えたとしても同時に伝わる訳ではありません。（なんだかややこしいですが…）
では、どちらを先にすれば良いのか？
理想で言えば、意味や意図をしっかりと理解した上で納得をして行動をしてもらう事。ただ、現実には行動が先になる事・させてしまう事の方が多いです。（とりあえずやってみて！）

これを、子どもの支援に置き換えた時にはどうなるでしょうか。
どちらを先にするのか？それは、その子の特性によって変えています。

例えば、

- ・言葉の発達がゆっくりで、行動にこだわりがあるお子さんの場合
先に「行動」や「具体的な方法」を体験的に伝えます。大人が手本を見せ、実際に身体を動かす事で行動パターンを確立します。
 - ・逆に理由に納得をしないと行動に移せない子には、何故それをしてしなければいけないのか。その行動をする事で自分や周りにとってどの様な良い事があるのか。などを言葉だけではなく、図や絵を用いながら視覚的に伝えます。
- これら以外にもありますが、説明や伝えはその子が何に一番アンテナを張っているのかがポイントです。

この流れは必ずしも毎回上手く行くとは限りません。考えて、挑戦を繰り返しながら少しずつステップアップをして行きます。

人が成長をしていく時に、知識と行動という2本の柱の間を、階段をそれぞれ行き来しながら上がって行くサイクルを作る事で、新しく「知る」「身に付ける」事が「楽しく」「嬉しく」感じられる様になって行くのではないのでしょうか。

児童通所課 嵯峨憲司



9月 活動報告

9/19 (月) 同年代の会

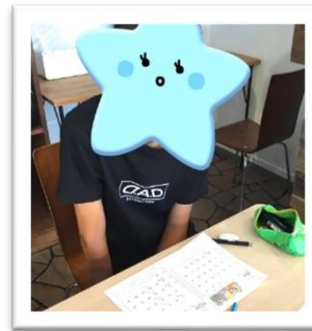
小学生の部・中学生の部に分かれて開催しました。
先輩の話をインタビュー形式で聞いたり、トーキングゲームで他の子や先輩と学校生活の様子を共有したりして過ごしました。
中学生の部では受験に向けてスケジュールを組んでみました。



先輩にインタビュー



トーキングゲーム
学校生活ver.



受験までの
スケジュール確認

9/23 (金) MJ所沢販売会

当日はご家族様やMJ入間・狭山からのご来客でとても賑わいました。
接客を担当してくれた子たちもおすすめの商品を紹介したり料金やお釣りを間違えないよう計算したり、時間いっぱいがんばりました。
お買い物に来て下さったみなさま、ありがとうございました。



最初は緊張が強かった様子ですが、徐々に大きい声で接客できるようになっていました。



体験コーナー「石積みゲーム」

時間制限内に6個積みます。
大人も苦戦する中、
何人か成功していました。



活動の様子は連絡帳やブログ、
Instagramにてお知らせいたします。
ぜひご覧ください。

